

InfoTrace[®] PLUS

移行ガイドライン

2013年 9月
株式会社 ソリトンシステムズ
プロダクトソリューション部

目次

1.概要.....	3
2.バージョンアップ対象および移行対象.....	4
3. InfoTrace PLUS V3.0 から InfoTrace PLUS V3.2 へのバージョンアップ.....	5
3-1.IT資産管理機能(e-Care V5.0 から V5.2)へのバージョンアップ.....	5
3-2.PC操作ログ収集機能(InfoTrace V3.0 から V3.2)へのバージョンアップ.....	7
3-3.PC操作制御、IT資産管理、シングルサインオン機能(SmartOn V3.0 から V3.2)へのバージョンアップ.....	9
4. Soliton Smart Security V1.2 から InfoTrace PLUS V3.2 への移行.....	11
4-1.e-Care V4.4 から IT資産管理機能(e-Care V5.2)への移行.....	11
4-2.InfoTrace Enterprise V2.2 から PC操作ログ収集機能(InfoTrace V3.2 DBモード)への移行.....	17
5. InfoTrace V1.6 から InfoTrace PLUS V3.2 への移行.....	24
5-1.InfoTrace V1.6 から PC操作ログ収集機能(InfoTrace V3.2 ファイルモード)への移行.....	24
5-2.InfoTrace V1.6 から PC操作ログ収集機能(InfoTrace V3.2 DBモード)への移行.....	31
5-3.e-Care V4.4 と InfoTrace V1.6 を同一サーバー上で稼働している場合の移行.....	38
お問い合わせ.....	48

概要

本ガイドでは、Soliton Smart Security V1.2、InfoTrace V1.6、InfoTrace PLUS V3.0.x から InfoTrace PLUS V3.2 へバージョンアップを行う際の流れを記載しております。

詳細な手順は記載しておりませんので、実際にサーバーのインストールやデータのバックアップ・リストア作業を行う場合のそれぞれの手順は、InfoTrace PLUS V3.2 製品メディアの各ドキュメントを必ずご確認くださいますようお願いいたします。

本ガイドでは、各サーバーコンポーネントを一台ずつ構築されている環境、または複数コンポーネントを一台のサーバーに共存して構築している環境について記載しております。

同一種類のサーバーコンポーネントを、複数台構築するような大規模環境には対応しておりませんので、大規模構成のお客様は別途お問い合わせください。

また、本ガイドには、NetAttest SecurityFilter と NALogon およびネットワーク認証・検疫機能の動作に関する Smart Policy Server のバージョンアップの説明は含んでおりませんので、別途お問い合わせください。

2.バージョンアップ対象および移行対象

2-1.バージョンアップ対象製品および移行対象の InfoTrace PLUS V3.2 の機能一覧

既存の各製品の保有ライセンスに応じた InfoTrace PLUS V3.2 の機能へバージョンアップが可能です。

Soliton Smart Security		製品名 InfoTrace PLUS V3.2		
旧製品名	機能名	機能名	コンポーネント名	
InfoTrace Enterprise V2.2	PC操作ログ収集・分析機能	操作ログ	InfoTrace V3.2	
		email 送信ログ ※1		
		Notes ログ ※1		
InfoTrace V1.6 (※SSSIには含まれません)		操作ログ分析		
		操作監視・アラート		
e-Care V4.4 資産管理 ネットワーク監視 サーバー監視	IT資産管理機能	IT資産管理	e-Care V5.2	
		パッチ管理		
		ソフトウェア配布		
		ライセンス管理		
		不正端末検知		
NALogon V2.2		Winny(P2P)等検知・削除		
V3.2 新機能	ネットワーク監視・サーバー監視	SNMP 機器監視	e-Care V5.2	
		Windows サーバー監視		
V3.2 新機能	ネットワーク認証・検疫 ※2	ID/パスワード認証	NALogon V3.2	
		電子証明書認証		
		検疫		
V3.2 新機能	PC操作制御	ユーザー ACL	SmartOn V3.2	
		デスクトップ利用制限		
		アプリ利用制限		
		デバイス利用制限		
V3.2 新機能	シングルサインオン	指定 USB メモリ利用許可		
		シングルサインオン		

※1 InfoTrace V1.6 および InfoTrace V2.x からバージョンアップ時には別途オプションライセンスが必要です。

※2 NetAttest SecurityFilter との連携が必要です。

2-2.バージョンアップ対象バージョン

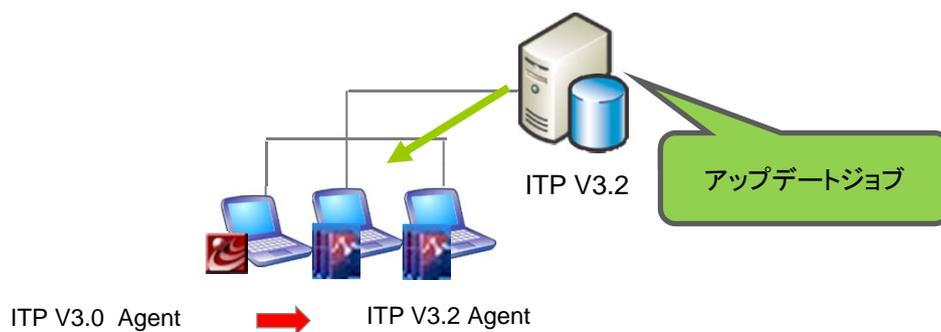
InfoTrace PLUS V3.2 にバージョンアップ可能な既存バージョンは、以下の通りです。

既存バージョン	アップデート	新環境	補足事項
InfoTrace V1.6.x	可	InfoTrace PLUS V3.2.x	InfoTrace のログコンバートが必要
Soliton Smart Security V1.2.x	可		InfoTrace のログコンバートが必要
InfoTrace PLUS V3.0.x	可		PC操作ログのコンバートは不要

STEP 2 Agent のバージョンアップ

- ① ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。

※段階的に ITP V3.0 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



3. InfoTrace PLUS V3.0 から InfoTrace PLUS V3.2 へのバージョンアップ

3-2.PC操作ログ収集機能(InfoTrace V3.0 から V3.2)へのバージョンアップ

	推奨	移行パターン	メリット	デメリット
【A】	◎	現在使用している同一サーバーを使用して移行 (一台のサーバーで移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	—
【B】	△	新たにサーバーを購入してサーバーを移行 (2台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスが同一の場合	IPアドレス変更不要	ハードウェア追加購入が必要
【C】	○	新たにサーバーを購入してサーバーを移行 (2台のサーバーを並行稼働して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスを変更する場合	本資料では説明していません。	

【A】 同一サーバーを使用して移行する場合の手順

【注意点】

- サーバーのバージョンアップ時やインストール時に、構成により他のサーバーや Agent との通信が発生しないようサービス停止が必要となる場合があります。
※詳しい手順は、Soliton Smart Security V3.2(InfoTrace PLUS V3.2)アップデートガイドをご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

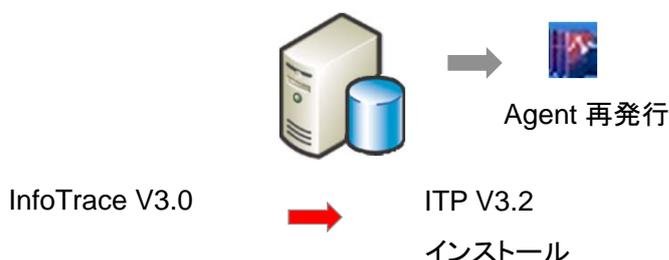
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
(e-Care V5.0 ユーザーズガイド「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

STEP 1 サーバーを ITP V3.2 にバージョンアップ

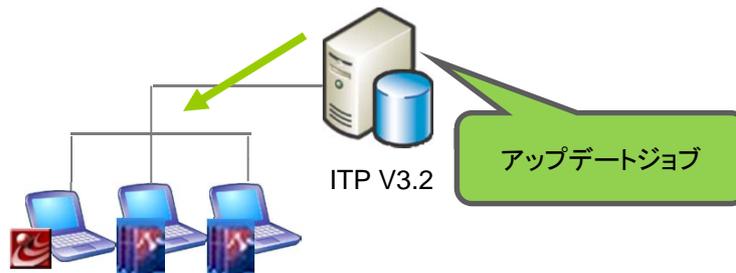
- ① ITP V3.0 サーバーを ITP V3.2 に上書きインストールして下さい。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
※Agent はまだ ITP V3.0 のままです。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。



STEP 2 Agent のバージョンアップ

- ① ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。

※段階的に ITP V3.0 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



InfoTrace V3.0 Agent



ITP V3.2 Agent

3. InfoTrace PLUS V3.0 から InfoTrace PLUS V3.2 へのバージョンアップ

3-3.PC操作制御、IT資産管理、シングルサインオン機能(SmartOn V3.0 から V3.2)へのバージョンアップ

	推奨	移行パターン	メリット	デメリット
【A】	◎	現在使用している同一サーバーを使用して移行 (一台のサーバーで移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	—
【B】	○	新たにサーバーを購入してサーバーを移行 (2台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスが同一の場合	IPアドレス変更不要	ハードウェア追加購入が必要
【C】	△	新たにサーバーを購入してサーバーを移行 (2台のサーバーを並行稼働して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスを変更する場合		

本資料では説明していません。

【A】 同一サーバーを使用して移行する場合の手順

【注意点】

- サーバーのバージョンアップ時やインストール時に、構成により他のサーバーや Agent との通信が発生しないようサービス停止が必要となる場合があります。
※詳しい手順は、Soliton Smart Security V3.2(InfoTrace PLUS V3.2)アップデートガイドをご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

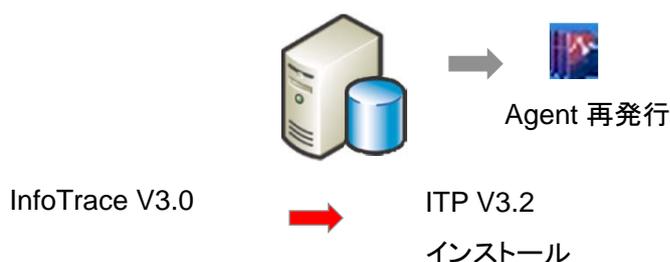
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
(e-Care V5.0ユーザーズガイド「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

STEP 1 サーバーを ITP V3.2 にバージョンアップ

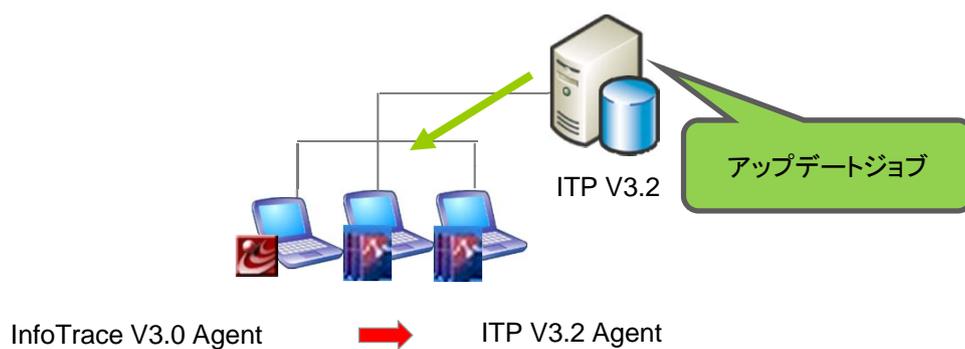
- ① ITP V3.0 サーバーを ITP V3.2 に上書きインストールして下さい。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
※Agent はまだ ITP V3.0 のままです。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。



STEP 2 Agent のバージョンアップ

- ① ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。

※段階的に ITP V3.0 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



4. Soliton Smart Security V1.2 から InfoTrace PLUS V3.2 への移行

4-1. e-Care V4.4 から IT資産管理機能(e-Care V5.2)への移行

	推奨	移行パターン	メリット	デメリット
【A】	◎	現在使用している同一サーバーを使用して移行 (一台のサーバーで移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	—
【B】	◎	新たにサーバーを購入してサーバーを移行 (2台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスが同一の場合	IPアドレス変更不要	ハードウェア追加購入が必要
【C】	△	新たにサーバーを購入してサーバーを移行 (2台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスを変更する場合	ハードウェアを移行・IPアドレスを変更できる	ハードウェア追加購入が必要

【A】 同一サーバーを使用して移行する場合の手順

【注意点】

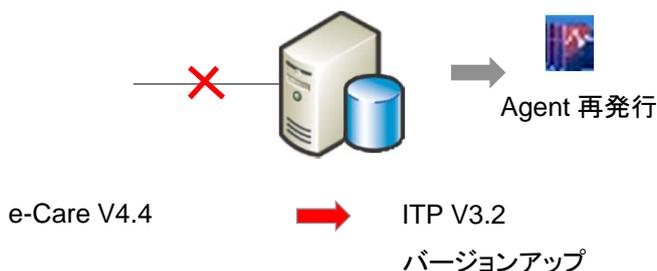
- Windows 2000 サーバーやサーバースペックが低い場合、インストール出来ません。
- サーバーのバージョンアップ時やインストール時に、構成により他のサーバーや Agent との通信が発生しないようサービス停止が必要となる場合があります。
※詳しい手順は、Soliton Smart Security V3.2 (InfoTrace PLUS V3.2) アップデートガイドをご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
(e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

STEP 1 サーバーを ITP V3.2 にバージョンアップ

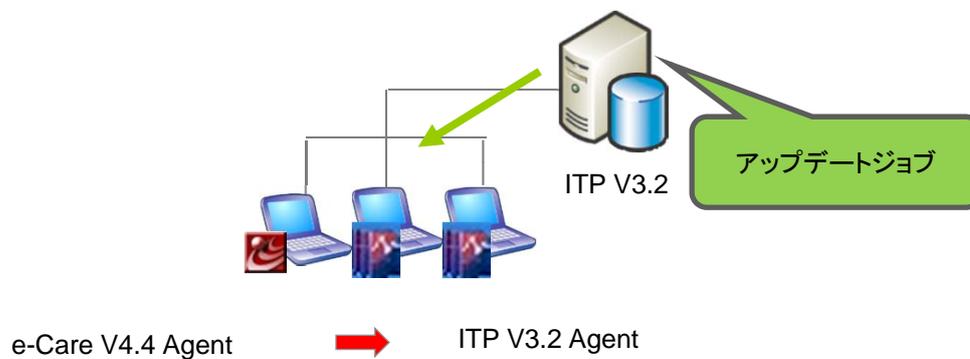
- ① e-Care V4.4 サーバーを ITP V3.2 に上書きインストールして下さい。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
※Agent はまだ e-Care V4.4 のままです。
- ② ITP V3.2サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。



STEP 2 Agent のバージョンアップ

- ① ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。

※段階的に e-Care V4.4 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



4-1. e-Care V4.4 から IT資産管理機能 (e-Care V5.2) への移行

【B】 新サーバーを用意して移行する場合の手順 (同じIPアドレス)

【注意点】

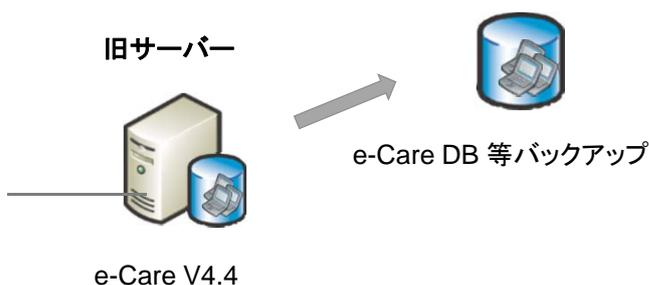
- e-Care DB の移行が必要です。
- システムパスワードを新旧サーバーで同一にする必要があります。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しができるよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
 (e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

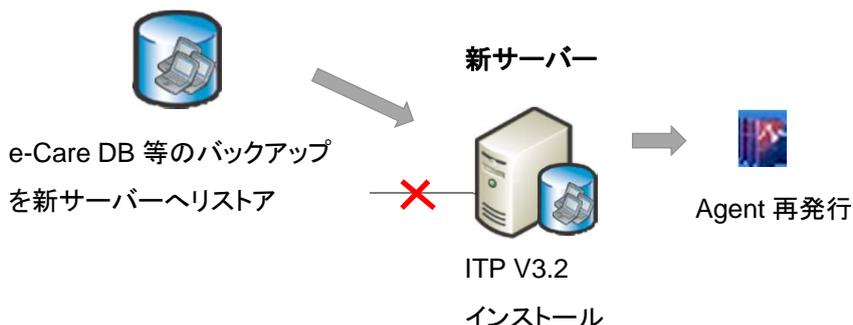
STEP 1 旧サーバーの DB バックアップ

- ① 旧サーバー上で ITP V3.2 製品メディア内のサーバーバックアップツールを使用し、e-Care DB 等のデータをバックアップして下さい。



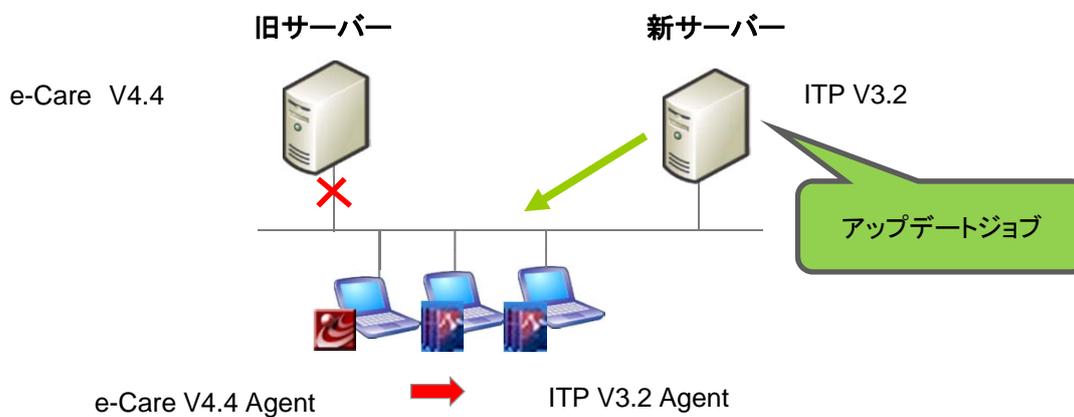
STEP 2 ITP V3.2 サーバーの新規インストール

- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールして下さい。
 ※システムパスワードを新旧で同一にする必要があります。
 ※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② サーバーバックアップツールにてバックアップしたデータを ITP V3.2 サーバーにリストアして下さい。
 ※STEP 2-① でアップデートパックを適用した場合は、再度、アップデートして下さい。
- ③ ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。



STEP 3 Agent のバージョンアップ

- ① 旧サーバーをネットワークから切離し、新サーバーをネットワークに接続して下さい。
※Agent はまだ e-Care V4.4 のままです。
- ② ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。
※段階的に e-Care V4.4 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 4 e-Care V4.4 サーバーのアンインストール

- ① 移行作業が完了したら、e-Care V4.4 サーバーをアンインストールして下さい。

4-1. e-Care V4.4 から IT資産管理機能 (e-Care V5.2) への移行

【C】 新サーバーを用意して移行する場合の手順(異なるIPアドレス)

【注意点】

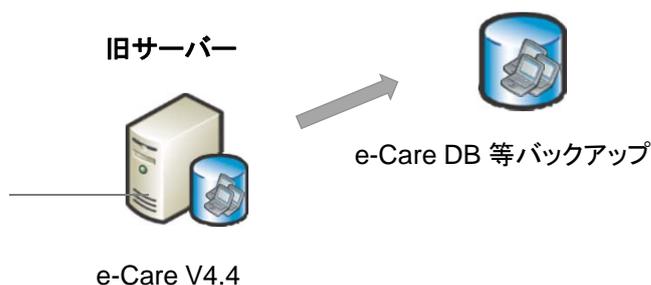
- e-Care DB の移行が必要です。
- システムパスワードを新旧サーバーで同一にする必要があります。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
(e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

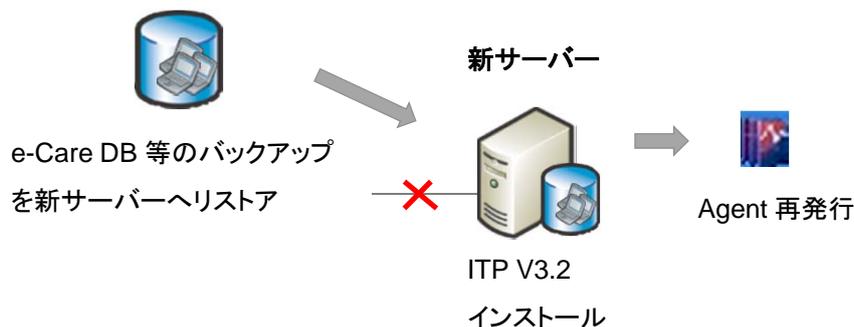
STEP 1 旧サーバーの DB バックアップ

- ① 旧サーバー上で ITP V3.2 製品メディア内のサーバーバックアップツールを使用し、e-Care DB 等のデータをバックアップして下さい。



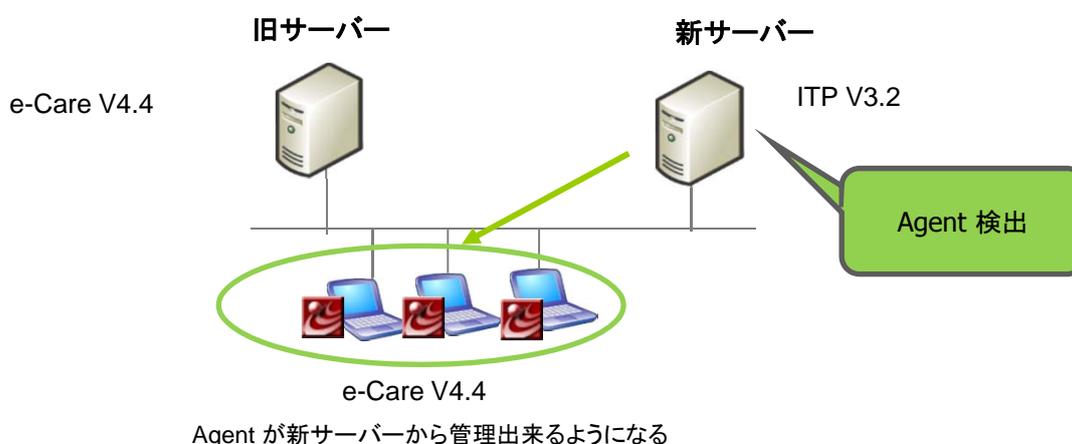
STEP 2 ITP V3.2 サーバーの新規インストール

- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールして下さい。
※システムパスワードを新旧で同一にする必要があります。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② サーバーバックアップツールにてバックアップしたデータを ITP V3.2 サーバーにリストアして下さい。
※STEP 2-① でアップデートパックを適用した場合は、再度、アップデートして下さい。
- ③ ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。



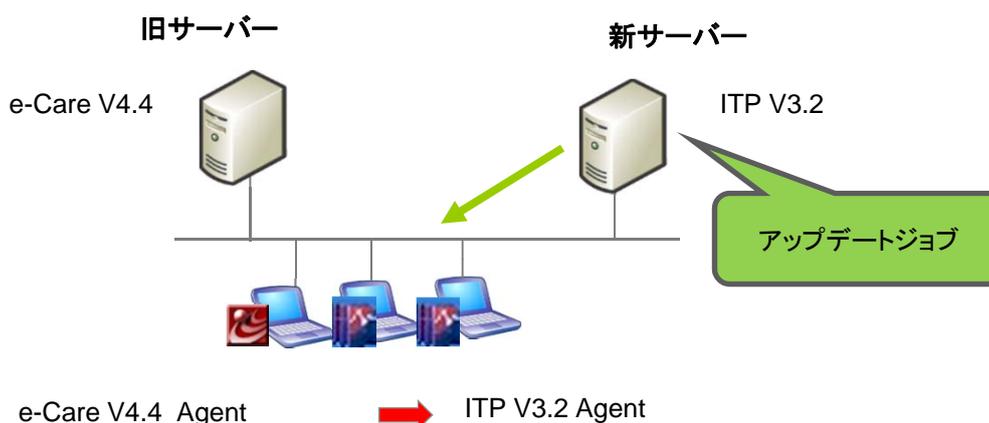
STEP 3 Agent の検出

- ① e-Care V4.4 サーバーの e-Care サービスを停止します。
- ② ITP V3.2 サーバーをネットワークに接続します。
- ③ ITP V3.2 サーバーの Manage の Agent 自動検出ジョブにて Windows Agent を検出して下さい。
 - ※Manager が Agent と通信出来るようになり、新サーバーで管理出来るようになります。
 - ※Agent はまだ e-Care V4.4 のままです。
 - ※PC が持ち出されている場合やシャットダウンされている場合は、検出出来ません。
 - ※規模や環境にもよりますが、全ての Agent が検出されるまで一定期間実行して頂く必要があります。
 - ※万が一、NAT 環境や FW がある環境で Agent 検出が出来ない場合は、別途ご相談下さい。



STEP 4 Agent のバージョンアップ

- ① ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。
- ※段階的に e-Care V4.4 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 5 e-Care V4.4 サーバーのアンインストール

- ① 移行作業が終わりましたら、e-Care V4.4 サーバーをアンインストールして下さい。

4. Soliton Smart Security V1.2 から InfoTrace PLUS V3.2 への移行

4-2. InfoTrace Enterprise V2.2 から PC操作ログ収集機能(InfoTrace V3.2 DBモード)への移行

	推奨	移行パターン	メリット	デメリット
【A】	△	現在使用している同一サーバーを使用して移行 (一台のサーバーで移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	ダウンタイムが大きい
【B】	◎	新たにサーバーを購入してサーバーを移行 (二台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスが同一の場合	IPアドレス変更不要	ハードウェア追加購入が必要
【C】	○	新たにサーバーを購入してサーバーを移行 (二台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスを変更する場合	ダウンタイムが小さい	ハードウェア追加購入が必要

【A】 同一サーバーを使用して移行する場合の手順

【注意点】

- Windows 2000 サーバーやサーバースペックが低い場合、インストール出来ません。
- InfoTrace V2.2 のログを V3.2 で検索するためには、バックアップしたログのコンバートが必要です。
- サーバーのバージョンアップ時やインストール時に、構成により他のサーバーや Agent との通信が発生しないようサービス停止が必要となる場合があります。
※詳しい手順は、Soliton Smart Security V3.2(InfoTrace PLUS V3.2)アップデートガイドをご参照ください。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド(4.5 システム設定を行う)をご参照ください。
- InfoTrace Enterprise V2.2サーバーをInfoTrace PLUS V3.2.xへ 上書きバージョンアップする場合、InfoTrace Enterprise V2.2の インストールフォルダ配下が一括して削除されます。
※InfoTrace Enterprise V2.2のデフォルトインストールフォルダ：
C:\Program Files\Soliton Smart Security\InfoTrace
InfoTrace Enterprise V2.2のバックアップファイルは、デフォルト設定のまま運用されている場合、「インストールフォルダ\Common\work」に保存されていますので、上書きバージョンアップ時にバックアップファイルが削除されてしまいます。InfoTrace Enterprise V2.2のインストールフォルダ配下にInfoTrace のバックアップファイルやお客様の重要なデータを保存している場合、バージョンアップする前に予め別フォルダ(ドライブ)へ退避させてください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しができるよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
(e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

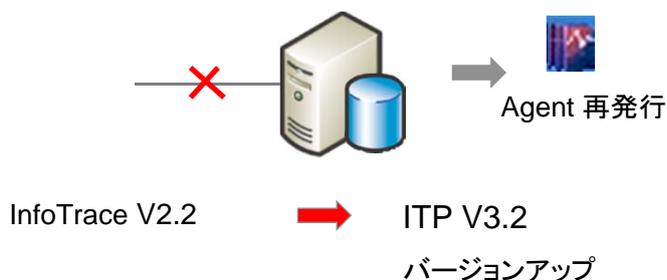
STEP 1 ログのバックアップ

- ① 事前に InfoTrace V2.2 の直近までのログをバックアップリストツールにてバックアップして下さい。
- ② オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。
- ③ サーバーをネットワークから切断して下さい。(Agent からログを受信しないようにします。)
- ④ 手順①の後に送られてきた全てのログをバックアップして下さい。



STEP 2 サーバーのバージョンアップ

- ① **サーバーの上書きバージョンアップの際、一旦、インストールフォルダ以下を全て削除します。**
インストールフォルダ以下にバックアップファイル等必要なデータがある場合は、事前にバックアップして下さい。
※デフォルトのインストールフォルダ: C:\Program Files\Soliton Smart Security
- ② InfoTrace V2.2 サーバーを ITP V3.2 サーバーにバージョンアップして下さい。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
※ログ保存期間など設定情報は引き継がれません。再設定して下さい。
- ③ ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。



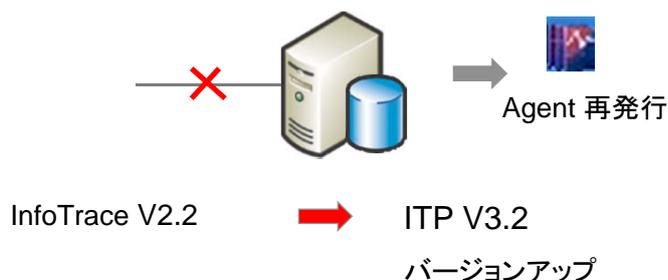
STEP 3 Agent のバージョンアップ

- ① サーバーをネットワークに戻します

※Agent はまだ InfoTrace V2.2 のままです。

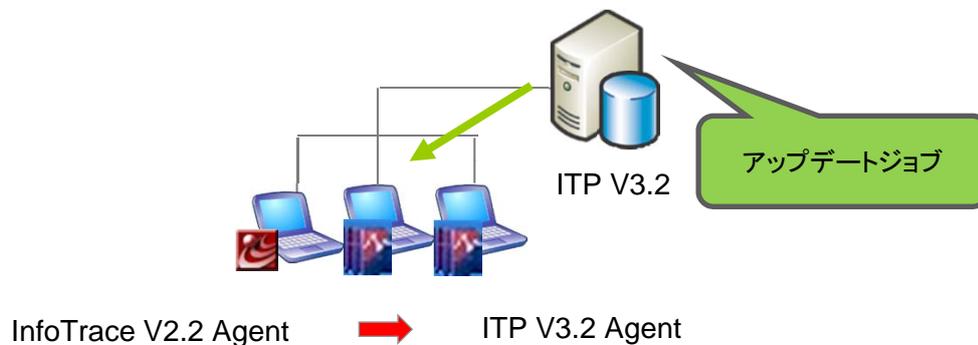
- ② I ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。

※段階的に InfoTrace V2.2 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 4 ログの移行(必要に応じ)

- ① 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。



4-2. InfoTrace Enterprise V2.2 から PC操作ログ収集機能 (InfoTrace V3.2 DBモード) への移行

【B】 新サーバーを用意して移行する場合の手順 (同じIPアドレス)

【注意点】

- Windows 2000 サーバーやサーバースペックが低い場合、インストール出来ません。
- InfoTrace V2.2 のログを ITP V3.2 で検索するためには、バックアップしたログのコンバートが必要です。
- システムパスワードを新旧サーバーで同一にする必要があります。
- InfoTrace サーバー設定情報 (ログ保存期間など) は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド (4.5 システム設定を行う) をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

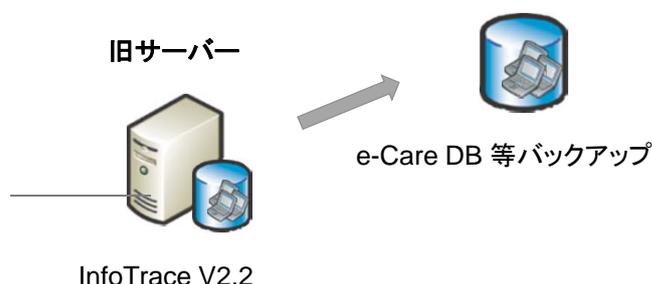
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
(e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

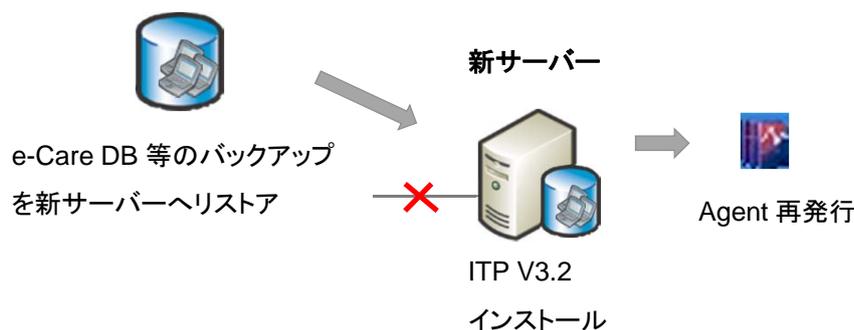
STEP 1 旧サーバーの DB バックアップ

- ① 旧サーバー上で ITP V3.2 製品メディア内のサーバーバックアップツールを使用し、e-Care DB 等のデータをバックアップして下さい。



STEP 2 ITP V3.2 サーバーの新規インストール

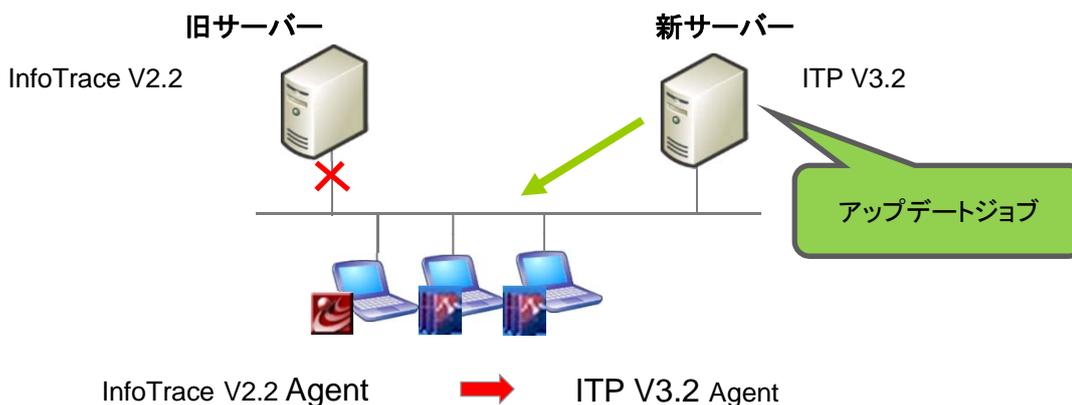
- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールして下さい。
※システムパスワードを新旧で同一にする必要があります。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
※ログ保存期間など設定情報は引き継がれません。再設定して下さい。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。
- ③ サーバーバックアップツールにてバックアップしたデータを ITP V3.2 サーバーにリストアして下さい。
※STEP 2-① でアップデートパックを適用した場合は、再度、アップデートして下さい。



ITP32GUIDE-130910U

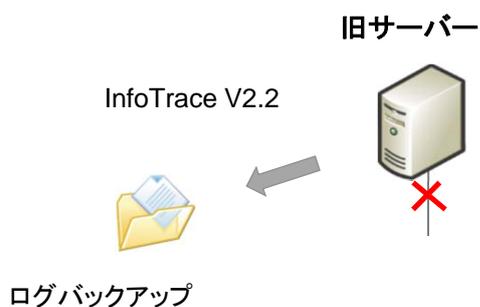
STEP 3 Agent のバージョンアップ

- ① オフライン端末がある場合、Log Import Tools (弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。
- ② 旧サーバーをネットワークから切離し、新サーバーをネットワークに接続して下さい。
※Agent はまだ InfoTrace V2.2 のままです。
- ③ ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。
※段階的に InfoTrace V2.2 Agent からITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 4 ログのバックアップ

- ① 全 Agent が ITP V3.2 に移行できましたら、ログをバックアップして下さい。
- ② 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。



STEP 5 InfoTrace V2.2 サーバーのアンインストール

- ① 移行作業が終わりましたら、InfoTrace V2.2 サーバーをアンインストールして下さい。

4-2. InfoTrace Enterprise V2.2 から PC操作ログ収集機能 (InfoTrace V3.2 DBモード) への移行

【C】 新サーバーを用意して移行する場合の手順 (異なるIPアドレス)

【注意点】

- Windows 2000 サーバーやサーバースペックが低い場合、インストール出来ません。
- InfoTrace V2.2 のログを ITP V3.2 で検索するためには、バックアップしたログのコンバートが必要です。
- システムパスワードを新旧サーバーで同一にする必要があります
- InfoTrace サーバー設定情報 (ログ保存期間など) は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド (4.5 システム設定を行う) をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

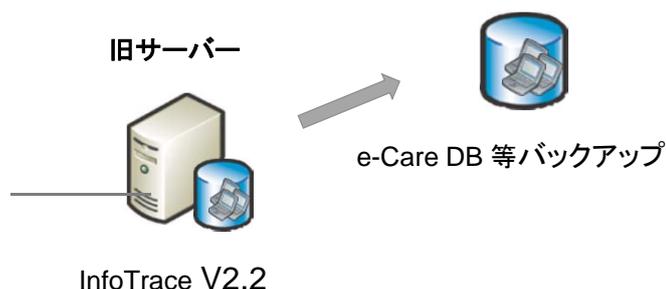
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
(e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

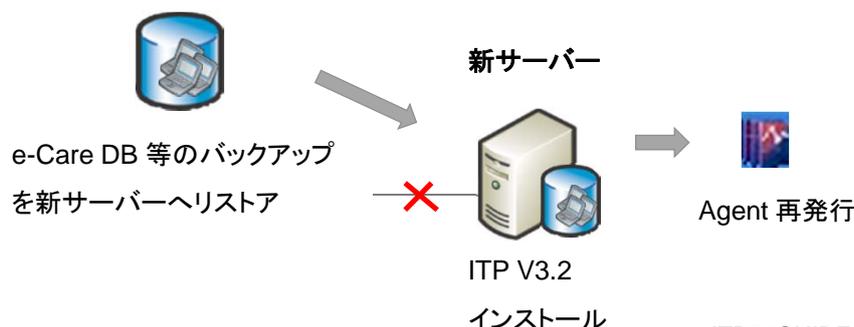
STEP 1 旧サーバーの DB バックアップ

- ① 旧サーバー上で ITP V3.2 製品メディア内のサーバーバックアップツールを使用し、e-Care DB 等のデータをバックアップしてください。



STEP 2 ITP V3.2 サーバーの新規インストール

- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールして下さい。
※システムパスワードを新旧で同一にする必要があります
※ログ保存期間など設定情報は引き継がれません。再設定して下さい。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② サーバーバックアップツールにてバックアップしたデータを ITP V3.2 サーバーにリストアして下さい。
※STEP 2-① でアップデートパックを適用した場合は、再度、アップデートして下さい。
- ③ ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。
- ④ オフライン端末がある場合、Log Import Tools (弊社HPよりダウンロード) にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。



ITP32GUIDE-130910U

STEP 3 Agent の検出

- ① 旧サーバーの e-Care サービスを停止します。(InfoTrace サービスは停止しないで下さい。)
- ② ITP V3.2 サーバーをネットワークに接続します。
- ③ ITP V3.2 サーバーの Manage の Agent 自動検出ジョブにて Windows Agent を検出して下さい。

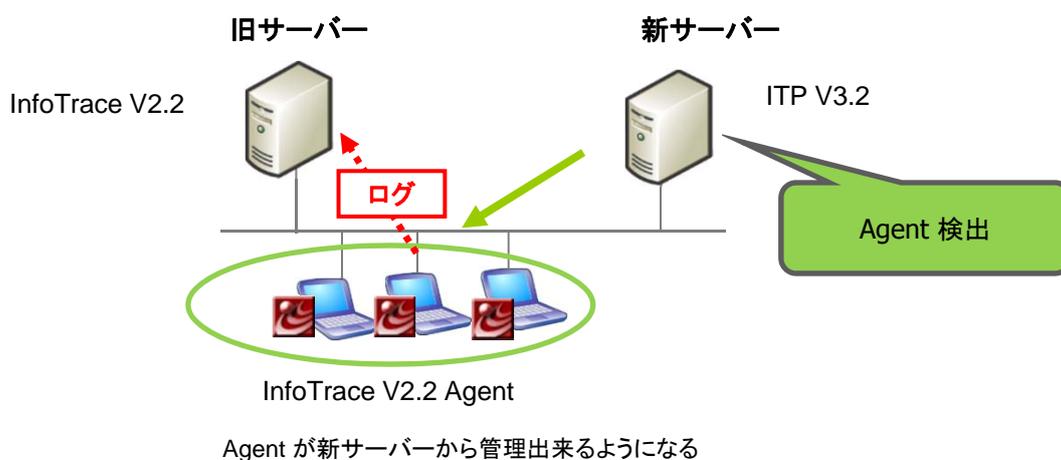
※Manager が Agent と通信出来るようになり、新サーバーで管理出来るようになります

※Agent はまだ InfoTrace V2.2 のままで、旧サーバーにログ送信しています

※PC が持ち出されている場合やシャットダウンされている場合は、検出出来ません。

※規模や環境にもよりますが、全ての Agent が検出されるまで一定期間実行して頂く必要があります。

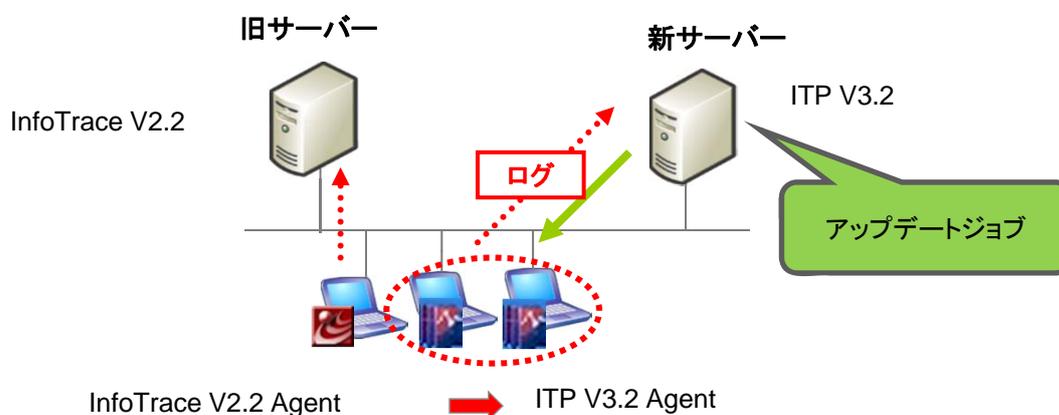
※万が一、NAT 環境や FW がある環境で Agent 検出が出来ない場合、別途ご相談下さい。



STEP 4 Agent のバージョンアップ

- ① ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。

※段階的に InfoTrace V2.2 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 5 ログのバックアップ

- ① InfoTrace V2.2 Agent がアンインストールされたら、旧サーバーをネットワークから外し、ログをバックアップリストツールにてバックアップして下さい。
- ② 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。

旧サーバー**STEP 6 InfoTrace V2.2 サーバーのアンインストール**

- ① 移行作業が完了したら、InfoTrace V2.2 サーバーをアンインストールして下さい。

5. InfoTrace V1.6 から InfoTrace PLUS V3.2 への移行

5-1. InfoTrace V1.6 から PC操作ログ収集機能(InfoTrace V3.2 ファイルモード)への移行

	推奨	移行パターン	メリット	デメリット
【A】	○	現在使用している同一サーバーを使用して移行する場合(一台のサーバーで共存せずに移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	ダウンタイムが大きい
	△	現在使用している同一サーバーを使用して移行する場合(一台のサーバーで共存し移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	InfoTrace PLUS V3.2の推奨スペックを満たしているサーバーでなければ負荷的な課題あり
【B】	△	新たにサーバーを購入してサーバーを移行する場合(二台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスが同一の場合	IPアドレス変更不要	ダウンタイムが大きい ハードウェア追加購入が必要
【C】	◎	新たにサーバーを購入してサーバーを移行する場合(二台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスを変更する場合	ダウンタイムが小さい	ハードウェア追加購入が必要

【A】 同一サーバーを使用して移行する場合の手順

【注意点】

- Windows 2000 サーバーや InfoTrace PLUS の動作スペックを満たさない場合、インストール出来ません。
- 同一サーバーに InfoTrace V1.6 と ITP V3.2 は共存出来ませんが、非推奨となります。InfoTrace PLUS V3.2 の推奨スペックを満たすマシンで既に運用されている場合で、小規模な環境の場合は共存して移行することが可能です。
- InfoTrace V1.6 Agent のログは ITP V3.2 サーバーでは受信出来ません。
- InfoTrace V1.6 のログを V3.2 で検索するためには、ログコンバートが必要です。
- 新 Agent をインストールするまでの期間が長くなる可能性があります。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace V3.2 ファイルモード ユーザーズガイド(4.1 InfoTrace Server 設定画面)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

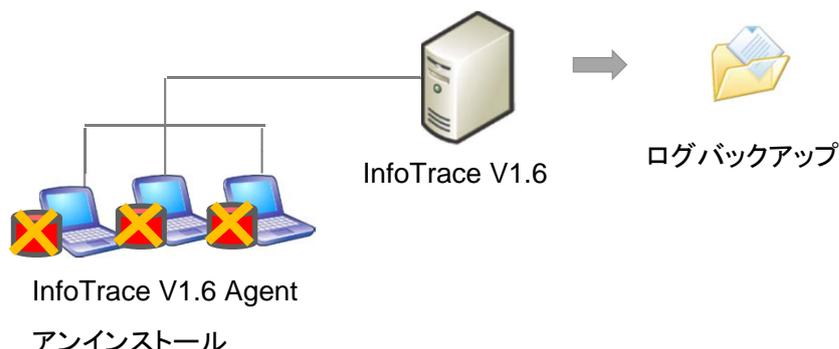
■ 推奨手順

STEP 1 Agent のアンインストール

- ① InfoTrace V1.6 Agent をアンインストールして下さい。
- ② オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。

STEP 2 ログのバックアップ

- ① 全ての InfoTrace V1.6 Agent がアンインストールされたら、ログをバックアップします。

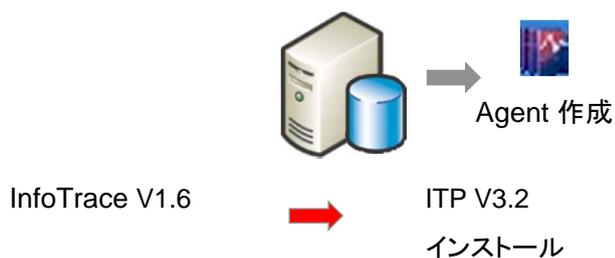


STEP 3 InfoTrace v1.6 サーバーのアンインストール

- ① InfoTrace V1.6 サーバーをアンインストールして下さい。

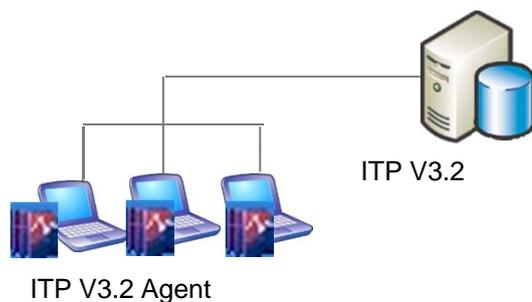
STEP 4 ITP V3.2 サーバー新規インストール

- ① サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールします。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を作成して下さい。



STEP 5 Agent のインストール

- ① ログオンスクリプトや手作業などの配布方法で、各端末へ ITP V3.2 Agent をインストールして下さい。



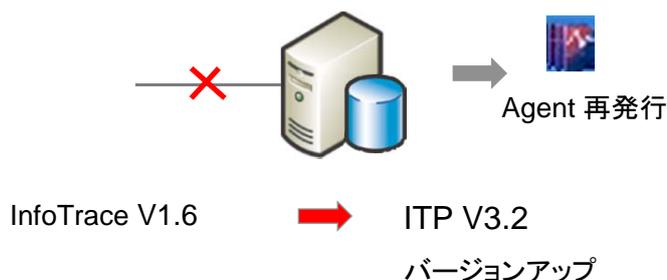
STEP 6 ログの移行(必要に応じ)

- ① 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、新サーバーのログフォルダへコンバートしたログをコピーして下さい。

■ 共存して移行する手順(小規模の場合のみ)

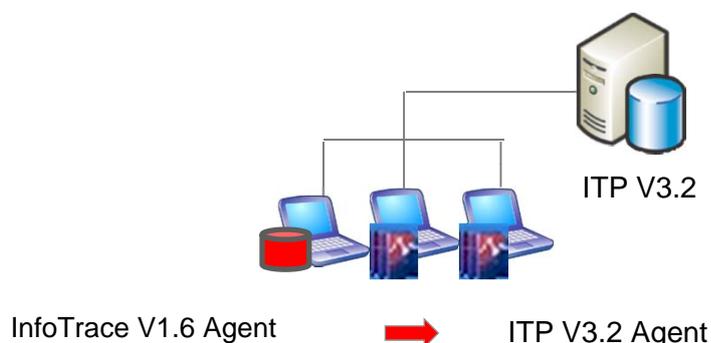
STEP 1 ITP V3.2 サーバー新規インストール

- ① InfoTrace V1.6 サーバーに ITP V3.2 サーバーをインストールします。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を作成して下さい。
- ③ オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。



STEP 2 Agent のバージョンアップ

- ① ログオンスクリプトや手作業などの配布方法で、各端末へ ITP V3.2 Agent を上書きバージョンアップして下さい。
※段階的に InfoTrace V1.6 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 3 ログのバックアップ

- ① 全 Agent が ITP V3.2 Agent へ移行出来たら、InfoTrace V1.6 のログをバックアップして下さい。
- ② 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、新サーバーのログフォルダへコンバートしたログをコピーして下さい。
(手順は、InfoTrace PLUS V3.2 ログ移行ガイドをご参照ください。)

STEP 4 InfoTrace V1.6 サーバーのアンインストール

- ① 移行作業が終わりましたら、InfoTrace V1.6 サーバーをアンインストールして下さい。

5-1. InfoTrace V1.6 から PC操作ログ収集機能(InfoTrace V3.2 ファイルモード)への移行

【B】新サーバーを用意して移行する場合の手順(同じIPアドレス)

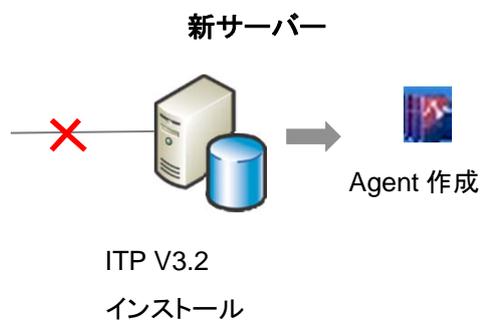
【注意点】

- IP アドレスが新旧同一の場合は並行稼働出来ないため、新 Agent をインストールするまでの期間が長くなる可能性があります。
- InfoTrace V1.6 Agent のログは ITP V3.2 サーバーでは受信出来ません。
- InfoTrace V1.6 のログを V3.2 で検索するためには、ログコンバートが必要です。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace V3.2 ファイルモード ユーザーズガイド(4.1 InfoTrace Server 設定画面)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

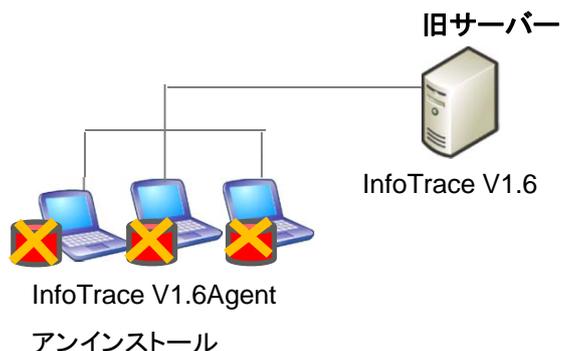
STEP 1 ITP V3.2 サーバー新規インストール

- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールします。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を作成して下さい。



STEP 2 Agent のアンインストール

- ① InfoTrace V1.6 Agent をアンインストールして下さい。
- ② オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。



5-1. InfoTrace V1.6 から PC操作ログ収集機能(InfoTrace V3.2 ファイルモード)への移行

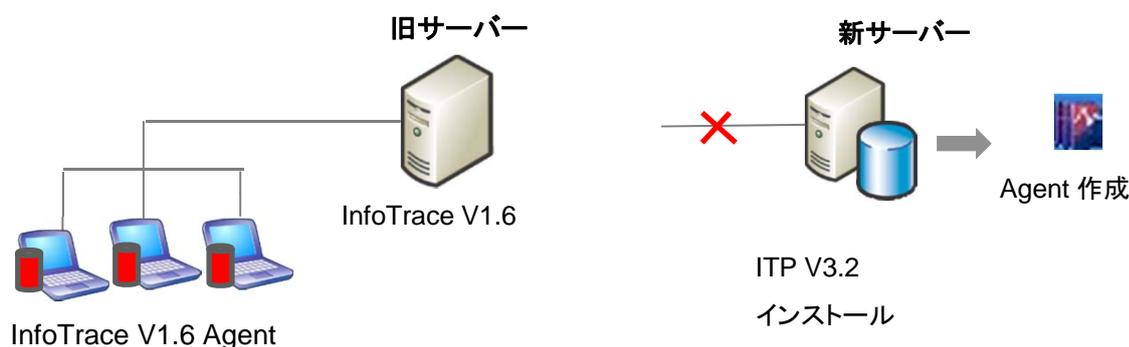
【C】 新サーバーを用意して移行する場合の手順(異なるIPアドレス)

【注意点】

- InfoTrace V1.6 Agent のログは ITP V3.2 サーバーでは受信出来ません。
- InfoTrace V1.6 のログを V3.2 で検索するためには、ログコンバートが必要です。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace V3.2 ファイルモード ユーザーズガイド(4.1 InfoTrace Server 設定画面)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

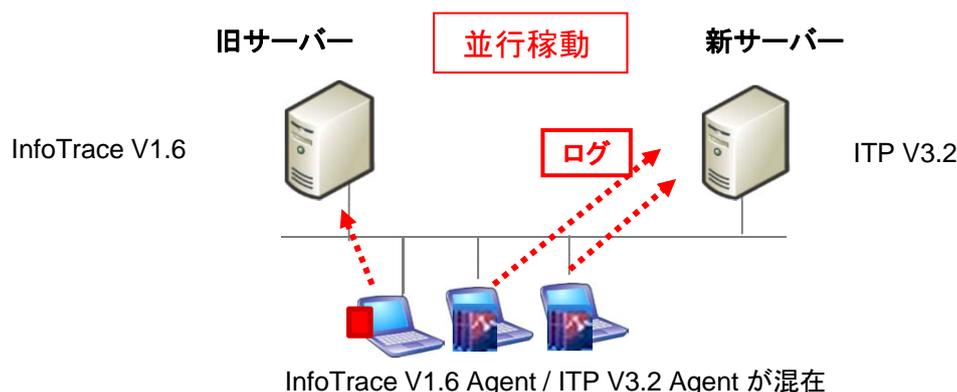
STEP 1 ITP V3.2 サーバー新規インストール

- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールします。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を作成して下さい。
- ③ オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。



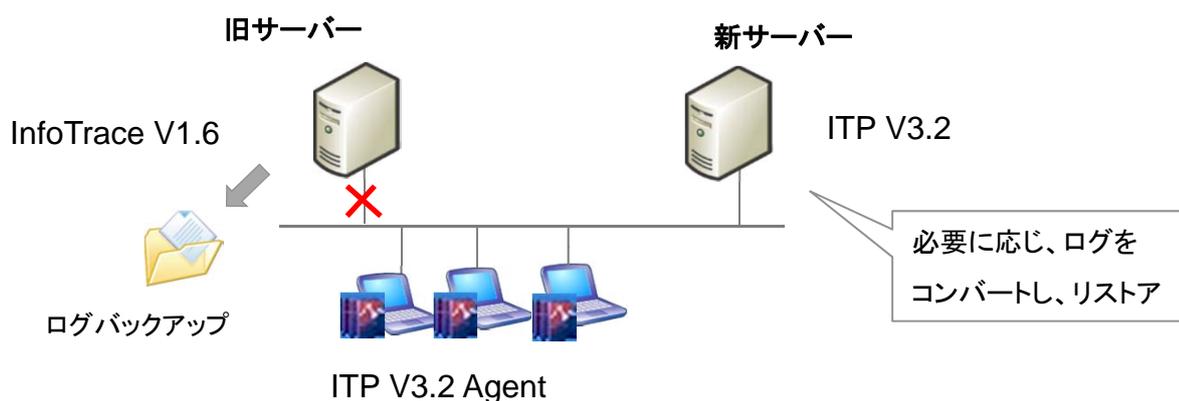
STEP 2 ITP V3.2 Agent インストール

- ① 新サーバーをネットワークに接続します。
- ② ログオンスクリプトや手作業などの配布方法で、各端末の ITP V3.2 Agent を上書きインストールして下さい。
※段階的に InfoTrace V1.6 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 3 ログのバックアップ

- ① 全 Agent が ITP V3.2 Agent へ移行出来たら、旧サーバーをネットワークから切断します。
- ② ログをバックアップして下さい。
- ③ 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、新サーバーのログフォルダへコンバートしたログをコピーして下さい。

**STEP 4 InfoTrace V1.6 サーバーのアンインストール**

- ① 移行作業が完了したら、InfoTrace V1.6 サーバーをアンインストールして下さい。

5. InfoTrace V1.6 から InfoTrace PLUS V3.2 への移行

5-2. InfoTrace V1.6 から PC操作ログ収集機能 (InfoTrace V3.2 DBモード) への移行

	推奨	移行パターン	メリット	デメリット
【A】	○	現在使用している同一サーバーを使用して移行する場合(一台のサーバーで共存せずに移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	ダウンタイムが大きい
	△	現在使用している同一サーバーを使用して移行する場合(一台のサーバーで共存し移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	InfoTrace PLUS V3.2の推奨スペックを満たしているサーバーでなければ負荷的な課題あり
【B】	△	新たにサーバーを購入してサーバーを移行する場合(二台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスが同一の場合	IPアドレス変更不要	ダウンタイムが大きい ハードウェア追加購入が必要
【C】	◎	新たにサーバーを購入してサーバーを移行する場合(二台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスを変更する場合	ダウンタイムが小さい	ハードウェア追加購入が必要

【A】 同一サーバーを使用して移行する場合の手順

【注意点】

- Windows 2000 サーバーや InfoTrace PLUS の動作スペックを満たさない場合、インストール出来ません。
- 同一サーバーに InfoTrace V1.6 と ITP V3.2 は共存出来ませんが、非推奨となります。InfoTrace PLUS V3.2 の推奨スペックを満たすマシンで既に運用されている場合で、小規模な環境の場合は共存して移行することが可能です。
- InfoTrace V1.6 Agent のログは ITP V3.2 サーバーでは受信出来ません。
- InfoTrace V1.6 のログを V3.2 で検索するためには、ログコンバートが必要です。
- 新 Agent をインストールするまでの期間が長くなる可能性があります。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド(4.5 システム設定を行う)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

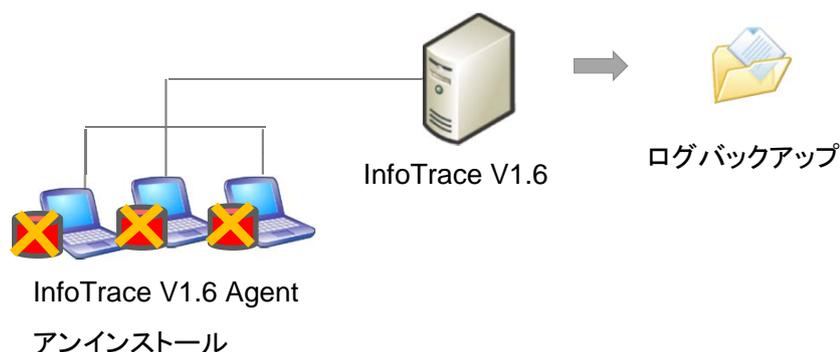
■ 推奨手順

STEP 1 Agent のアンインストール

- ① InfoTrace V1.6 Agent をアンインストールして下さい。
- ② オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。

STEP 2 ログのバックアップ

- ① 全ての InfoTrace V1.6 Agent がアンインストールされたら、ログをバックアップします。

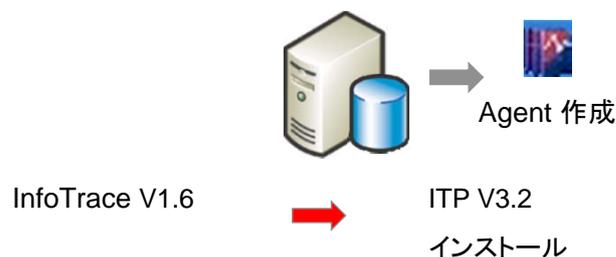


STEP 3 InfoTrace V1.6 サーバーのアンインストール

- ① 移行作業が完了したら、InfoTrace V1.6 サーバーをアンインストールして下さい。

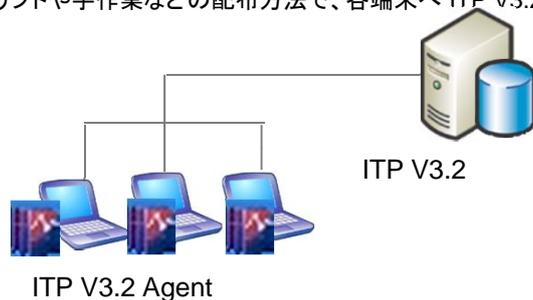
STEP 4 ITP V3.2 サーバー新規インストール

- ① サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールします。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② ITP V3.2 サーバにて、Agent Disk を作成して下さい。



STEP 5 Agent のインストール

- ① ログオンスクリプトや手作業などの配布方法で、各端末へ ITP V3.2 Agent をインストールして下さい。



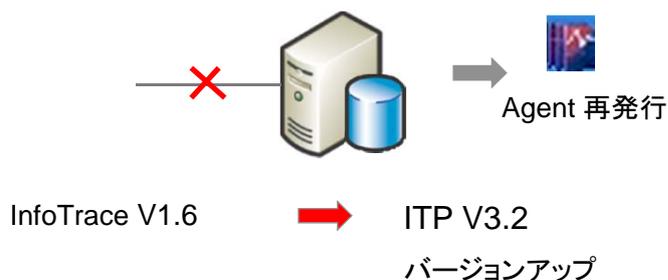
STEP6 ログの移行(必要に応じ)

- ① 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。

■ 共存して移行する手順(小規模の場合のみ)

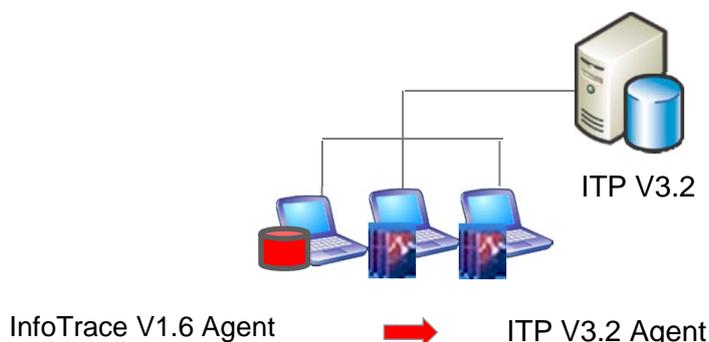
STEP 1 ITP V3.2 サーバー新規インストール

- ① InfoTrace V1.6 サーバーに ITP V3.2 サーバーをインストールします。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を作成して下さい。
- ③ オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。



STEP 2 Agent のバージョンアップ

- ① ログオンスクリプトや手作業などの配布方法で、各端末へ ITP V3.2 Agent を上書きインストールして下さい。
※段階的に InfoTrace V1.6 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 3 ログのバックアップ

- ① 全 Agent が ITP V3.2 Agent へ移行出来たら、InfoTrace V1.6 のログをバックアップして下さい。
- ② 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。

STEP 4 InfoTrace V1.6 サーバーのアンインストール

- ① 移行作業が完了しましたら、InfoTrace V1.6 サーバーをアンインストールして下さい。

5-2. InfoTrace V1.6 から PC操作ログ収集機能 (InfoTrace V3.2 DBモード) への移行

【B】 新サーバーを用意して移行する場合の手順(同じIPアドレス)

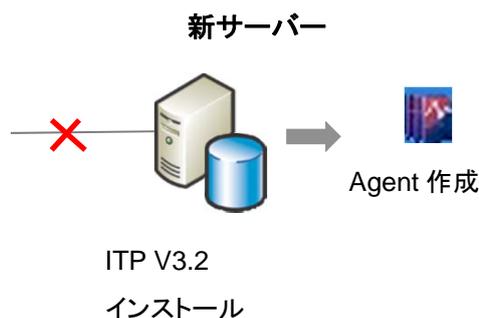
【注意点】

- IPアドレスが新旧同一の場合は並行稼働出来ないため、新 Agent をインストールするまでの期間が長くなる可能性があります。
- InfoTrace V1.6 Agent のログは ITP V3.2 サーバーでは受信出来ません。
- InfoTrace V1.6 のログを V3.2 で検索するためには、ログコンバートが必要です。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
※ InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド(4.5 システム設定を行う)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

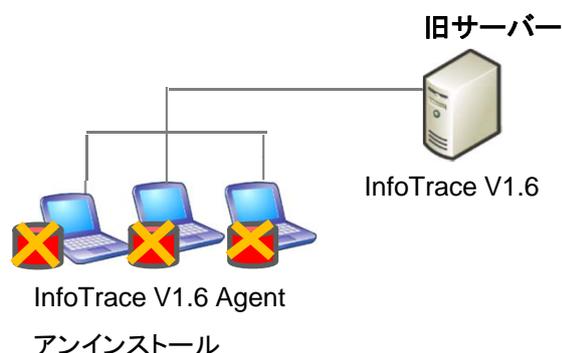
STEP 1 ITP V3.2 サーバー新規インストール

- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールします。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を作成して下さい。



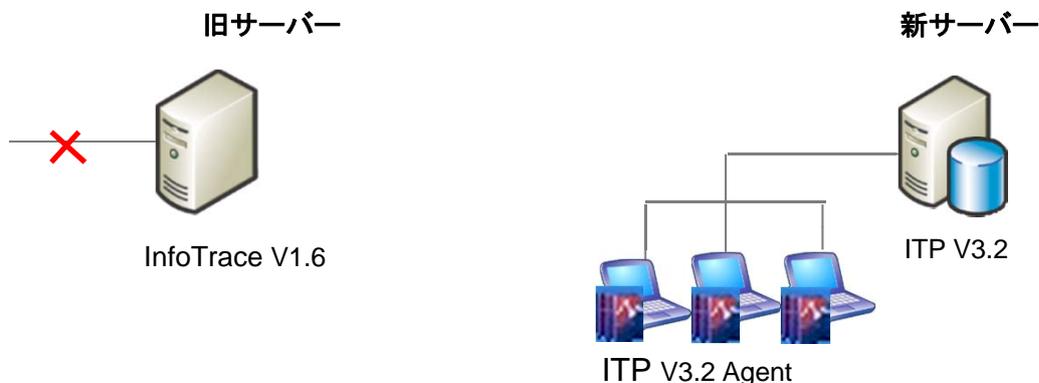
STEP 2 Agent のアンインストール

- ① InfoTrace V1.6 Agent をアンインストールして下さい。
- ② オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。



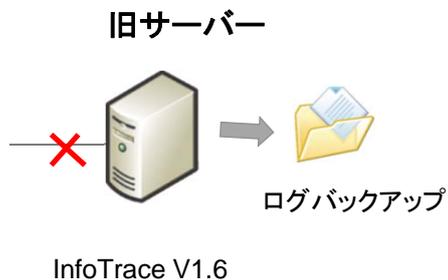
STEP 3 Agent のインストール

- ① 旧サーバーをネットワークから切離し、新サーバーをネットワークに接続して下さい。
※InfoTrace V1.6 Agent が全部アンインストールされた状態
- ② ログオンスクリプトや手作業などの配布方法で、各端末へ ITP V3.2 Agent をインストールして下さい。



STEP 4 ログのバックアップ

- ① InfoTrace V1.6 のログをバックアップして下さい。
- ② 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストアツールにてリストアして下さい。



STEP 5 InfoTrace V1.6 サーバーのアンインストール

- ① 移行作業が完了したら、InfoTrace V1.6 サーバーをアンインストールして下さい。

5-2. InfoTrace V1.6 から PC操作ログ収集機能 (InfoTrace V3.2 DBモード) への移行

【C】 新サーバーを用意して移行する場合の手順(異なるIPアドレス)

【注意点】

- InfoTrace V1.6 Agent のログは ITP V3.2 サーバーでは受信出来ません。
- InfoTrace V1.6 のログを V3.2 で検索するためには、ログコンバートが必要です。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド(4.5 システム設定を行う)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

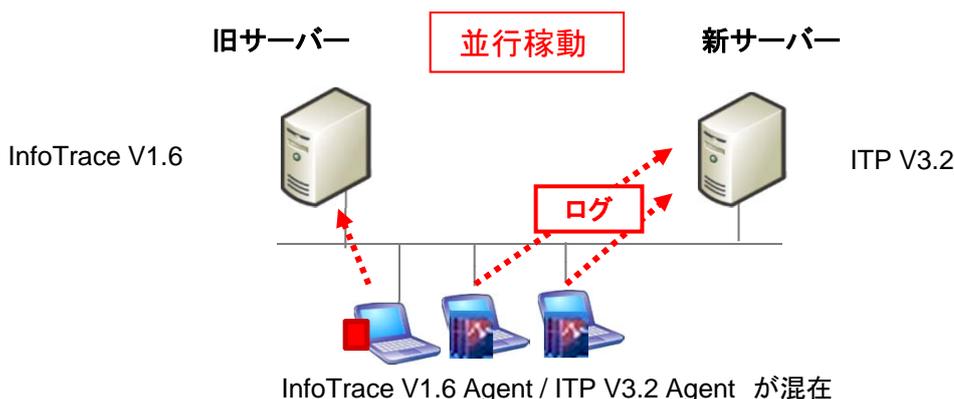
STEP 1 ITP V3.2 サーバー新規インストール

- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールします。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を作成して下さい。
- ③ オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。



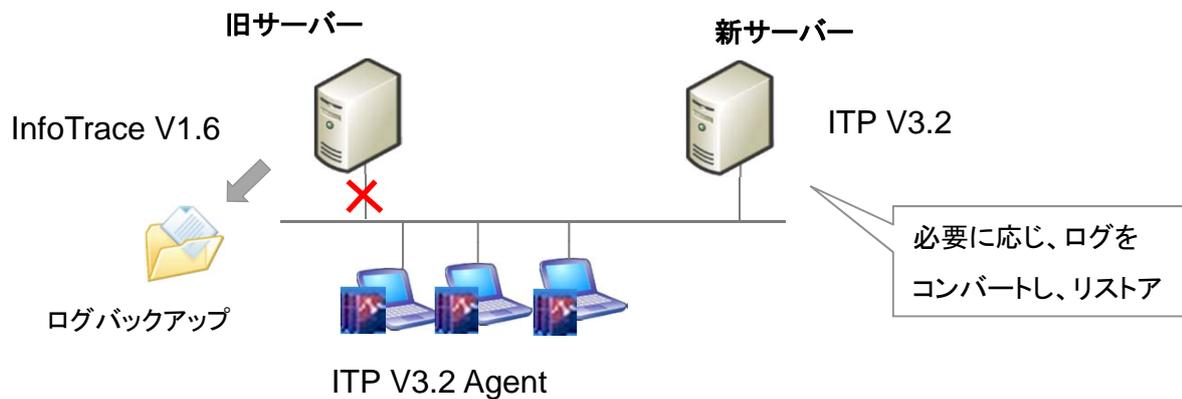
STEP 2 ITP V3.2 Agent インストール

- ① 新サーバーをネットワークに接続します。
- ② ログオンスクリプトや手作業などの配布方法で、各端末の ITP V3.2 Agent を上書きインストールして下さい。
※段階的に InfoTrace V1.6 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 3 ログのバックアップ

- ① 全 Agent が ITP V3.2 Agent へ移行出来たら、旧サーバーをネットワークから切断します。
- ② ログをバックアップして下さい。
- ③ 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。

**STEP 4 InfoTrace V1.6 サーバーのアンインストール**

- ① 移行作業が完了したら、InfoTrace V1.6 サーバーをアンインストールして下さい。

5. InfoTrace V1.6 から InfoTrace PLUS V3.2 への移行

5-3. e-Care 4.4 と InfoTrace V1.6 を同一サーバー上で稼働している場合の移行

	推奨	移行パターン	メリット	デメリット
【A】	○	現在使用している同一サーバーを使用して移行する場合(一台のサーバーで共存せずに移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	ダウンタイムが大きい
	△	現在使用している同一サーバーを使用して移行する場合(一台のサーバーで共存し移行) ※動作スペックを満たしている必要があります。	ハードウェアの追加が不要	InfoTrace PLUS V3.2の推奨スペックを満たしているサーバーでなければ負荷的な課題あり
【B】	△	新たにサーバーを購入してサーバーを移行する場合(二台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスが同一の場合	IPアドレス変更不要	ダウンタイムが大きい ハードウェア追加購入が必要
【C】	◎	新たにサーバーを購入してサーバーを移行する場合(二台のサーバーを使用して移行) 旧サーバーと新サーバーのIPアドレスを変更する場合	ダウンタイムが小さい	ハードウェア追加購入が必要

■ 共存せずに移行

【A】 同一サーバーを使用して移行する場合の手順

【注意点】

- Windows 2000 サーバーやサーバースペックが低い場合はインストール出来ません。
- Agent をアンインストールしてからインストールするまでの期間が長くなる可能性があります。
- InfoTrace V1.6 Agent のログは ITP V3.2 サーバーでは受信出来ません。
- InfoTrace V1.6 のログを ITP V3.2 で検索するためには、バックアップしたログのコンバートが必要です。
- サーバーのバージョンアップ時やインストール時に、構成により他のサーバーや Agent との通信が発生しないよう、サービス停止が必要となる場合があります。
※詳しい手順は、Soliton Smart Security V3.2.0(InfoTrace PLUS V3.2.0)アップデートガイドをご参照ください。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド(4.5 システム設定を行う)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

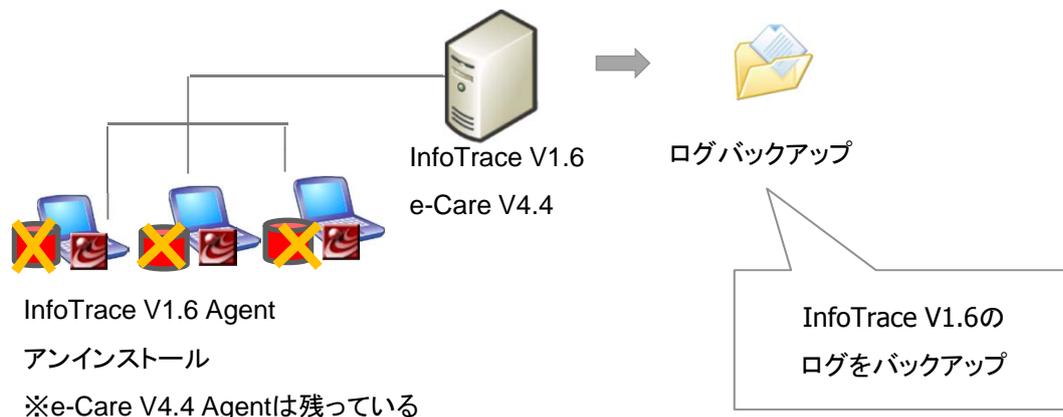
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
(e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

STEP 1 Agent のアンインストール

- ① InfoTrace V1.6 Agent をアンインストールして下さい。
※e-Care V4.4 Agent はインストールされたままです
- ② オフライン端末がある場合、Log Import Tools(弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。
- ③ 全 InfoTrace V1.6 Agent をアンインストール後、ログをバックアップして下さい。

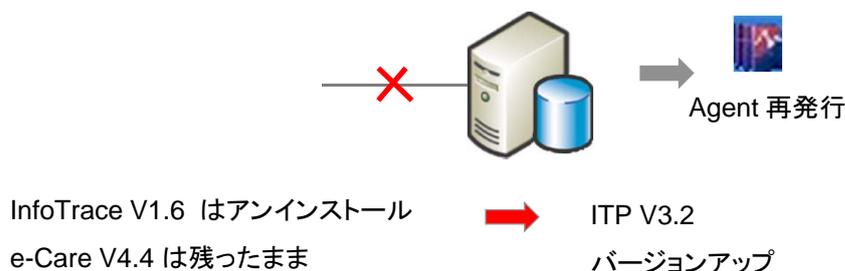


STEP 2 InfoTrace V1.6 サーバーアンインストール

- ① 全 InfoTrace V1.6 Agent がアンインストールされたら、InfoTrace V1.6 サーバーをアンインストールして下さい。

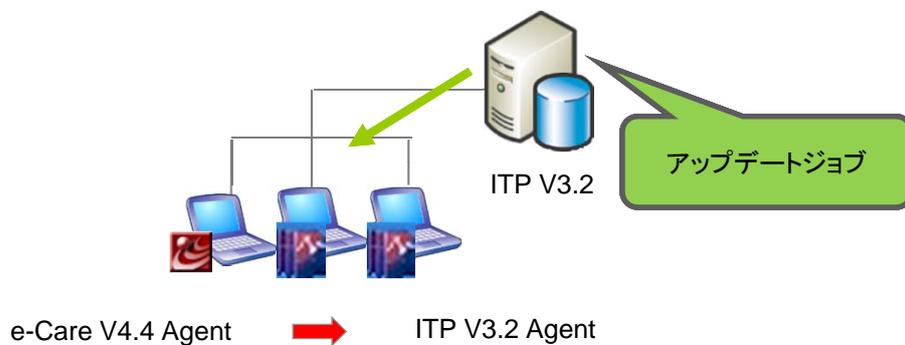
STEP 3 サーバを ITP V3.2 サーバーにバージョンアップ

- ① e-Care V4.4 サーバーに ITP V3.2 を上書きインストールして下さい。
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
※InfoTrace V1.6 サーバーはインストールされたままです。
※Agent は e-Care V4.4 、InfoTrace V1.6 のままです。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。



STEP 4 Agent のバージョンアップ

- ① ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。



STEP 5 ログの移行

- ① 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。

5. InfoTrace V1.6 から InfoTrace PLUS V3.2 への移行

5-3. e-Care 4.4 と InfoTrace V1.6 を同一サーバー上で稼働している場合の移行

■ 共存して移行する手順(小規模の場合のみ)

【A】 同一サーバーを使用して移行する場合の手順

【注意点】

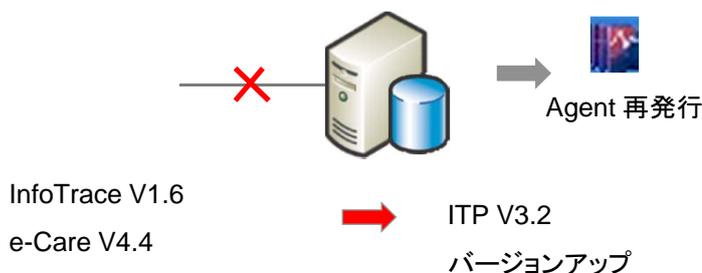
- Windows 2000 サーバーやサーバースペックが低い場合はインストール出来ません。
- 同じサーバーに InfoTrace V1.6 と ITP V3.2 は共存出来ませんが、パフォーマンスに影響が出る可能性がありますので、共存は推奨しておりません。
- Agent をアンインストールしてからインストールするまでの期間が長くなる可能性があります。
- InfoTrace V1.6 Agent のログは ITP V3.2 サーバーでは受信出来ません。
- InfoTrace V1.6 のログを ITP V3.2 で検索するためには、バックアップしたログのコンバートが必要です。
- サーバーのバージョンアップ時やインストール時に、構成により他のサーバーや Agent との通信が発生しないよう、サービス停止が必要となる場合があります。
 ※詳しい手順は、Soliton Smart Security V3.2.0(InfoTrace PLUS V3.2.0)アップデートガイドをご参照ください。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
 ※InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド(4.5 システム設定を行う)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
 (e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

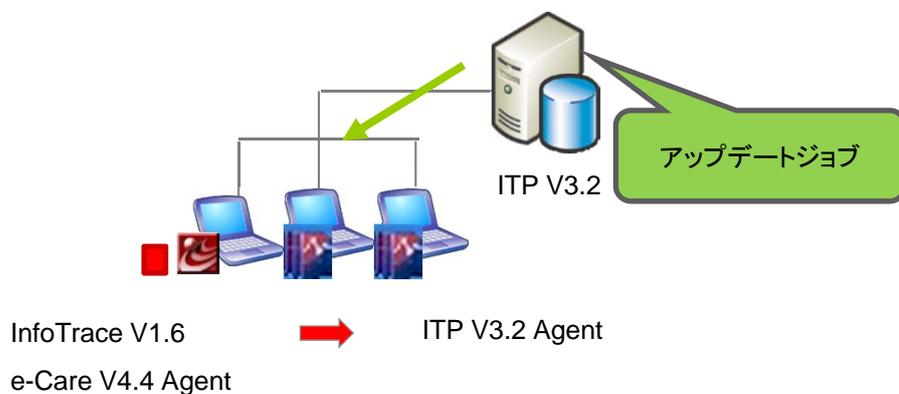
STEP 1 サーバを ITP V3.2 サーバーにバージョンアップ

- ① e-Care V4.4 サーバーに ITP V3.2 を上書きインストールして下さい。
 ※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
 ※InfoTrace V1.6 サーバーはインストールされたままです
 ※Agent は e-Care V4.4、InfoTrace V1.6 のままです。
- ② ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk を再発行して下さい。



STEP 2 Agent のバージョンアップ

- ① ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。



STEP 3 ログの移行

- ① 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。

STEP 4 InfoTrace V1.6 サーバーのアンインストール

- ① 移行作業が完了したら、InfoTrace V1.6 サーバーをアンインストールして下さい。

5-3. e-Care 4.4 と InfoTrace V1.6 を同一サーバー上で稼働している場合の移行

【B】 新サーバーを用意して移行する場合の手順(同じIPアドレス)

【注意点】

- 旧サーバーの e-Care DB を移行する必要があります。
- システムパスワードを新旧サーバーで同一にする必要があります
- InfoTrace V1.6 のログは ITP V3.2 で受信出来ないため、InfoTrace V1.6 Agent を一旦アンインストールする必要があります。
- InfoTrace V1.6 のログを ITP V3.2 で検索するためには、バックアップしたログのコンバートが必要です。
- InfoTrace サーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
※InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド(4.5 システム設定を行う)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。

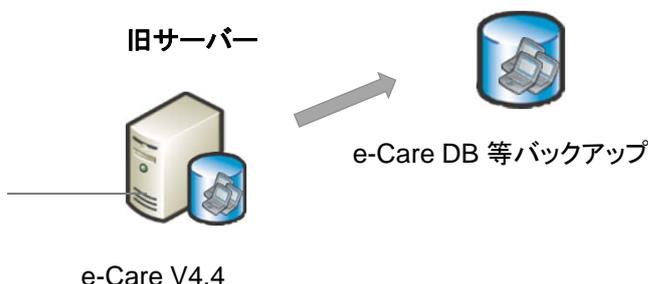
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
(e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

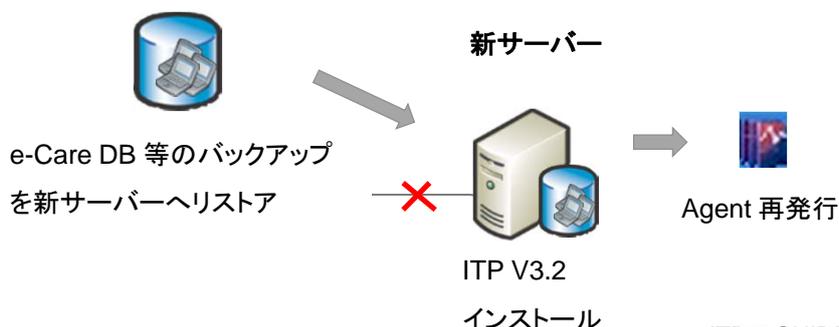
STEP 1 旧サーバーの DB バックアップ

- ① 旧サーバー上で ITP V3.2 製品メディア内のサーバーバックアップツールを使用し、e-Care DB 等のデータをバックアップする。



STEP 2 ITP V3.2 サーバーの新規インストール

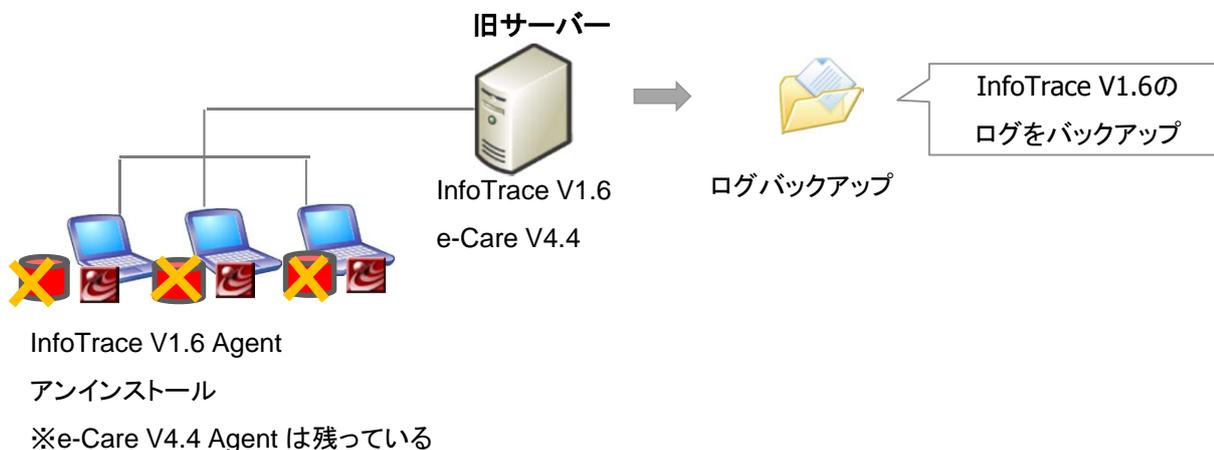
- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールして下さい。
※システムパスワードを新旧で同一にする必要があります
※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② サーバーバックアップツールにてバックアップしたデータを ITP V3.2 サーバーにリストアして下さい。
- ③ ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk の設定内容を確認し、Agent Disk を再発行して下さい。(InfoTrace 設定が必要)
- ④ サーバーバックアップツールにてバックアップしたデータを ITP V3.2 サーバーにリストアして下さい。
※STEP 2-①でアップデートパックを適用した場合は、再度、アップデートして下さい。



ITP32GUIDE-130910U

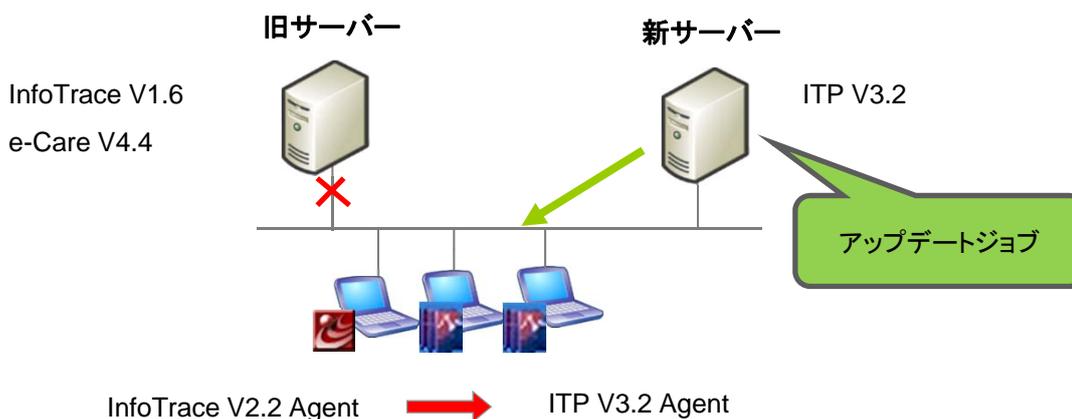
STEP 3 Agent のアンインストール

- ① InfoTrace v1.6 Agent をアンインストールして下さい。
※e-Care V4.4 Agent は残したままです。
- ② オフライン端末がある場合、Log Import Tools (弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。
- ③ 全 InfoTrace V1.6 Agent がアンインストールされたら、旧サーバーのログをバックアップします。



STEP 4 Agent のバージョンアップ

- ① 旧サーバーをネットワークから切離し、新サーバーをネットワークに接続して下さい。
※Agent はまだ e-Care V4.4 のままです。
- ② ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で上書きインストールして下さい。
※段階的に e-Care V4.4 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。



STEP 5 ログの移行 (必要に応じ)

- ① 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。

STEP 6 InfoTrace V1.6、e-Care V4.4 サーバーのアンインストール

- ① 旧サーバーから InfoTrace V1.6 サーバー、e-Care V4.4 サーバーをアンインストールして下さい。

5-3. e-Care 4.4 と InfoTrace V1.6 を同一サーバー上で稼働している場合の移行

【C】 新サーバーを用意して移行する場合の手順(異なるIPアドレス)

【注意点】

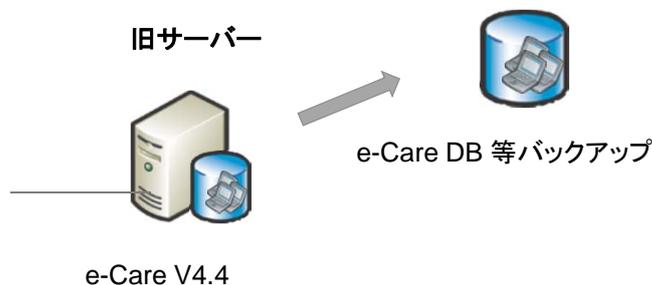
- 旧サーバーの e-Care DB を移行する必要があります
- InfoTrace V1.6 Agent のログは ITP V3.2 サーバーでは受信出来ません。
- InfoTrace V1.6 のログを ITP V3.2 で検索するためには、バックアップしたログのコンバートが必要です。
- サーバーのバージョンアップ時やインストール時に、構成により他のサーバーや Agent との通信が発生しないよう、サービス停止が必要となる場合があります。
 ※詳しい手順は、Soliton Smart Security V3.2 (InfoTrace PLUS V3.2) アップデートガイドをご参照ください。
- InfoTraceサーバー設定情報(ログ保存期間など)は引き継がれません。再設定が必要です。
 ※InfoTrace PLUS V3.2 データベースモード ユーザーズガイド(4.5 システム設定を行う)をご参照ください。
- アップデートパックは、下記サポートダウンロードサイトで公開しています。注意事項がありますので、必ずリリースノートをご参照ください。
<http://www.soliton.co.jp/support/download/index.html>

STEP 0 サーバー情報の事前バックアップ

- ① 万が一に備え、切戻しが出来るよう事前に e-Care のデータをバックアップして下さい。
 (e-Care V4.4 リリースノート「e-Care データの移行方法と復旧方法」参照)

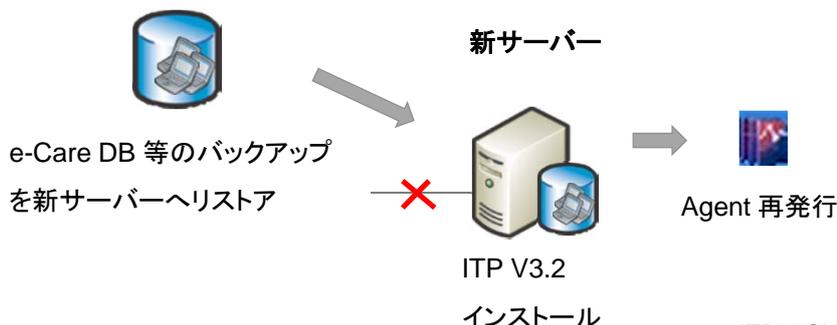
STEP 1 旧サーバーの DB バックアップ

- ① 旧サーバー上で ITP V3.2 製品メディア内のサーバーバックアップツールを使用し、e-Care DB 等のデータをバックアップして下さい。



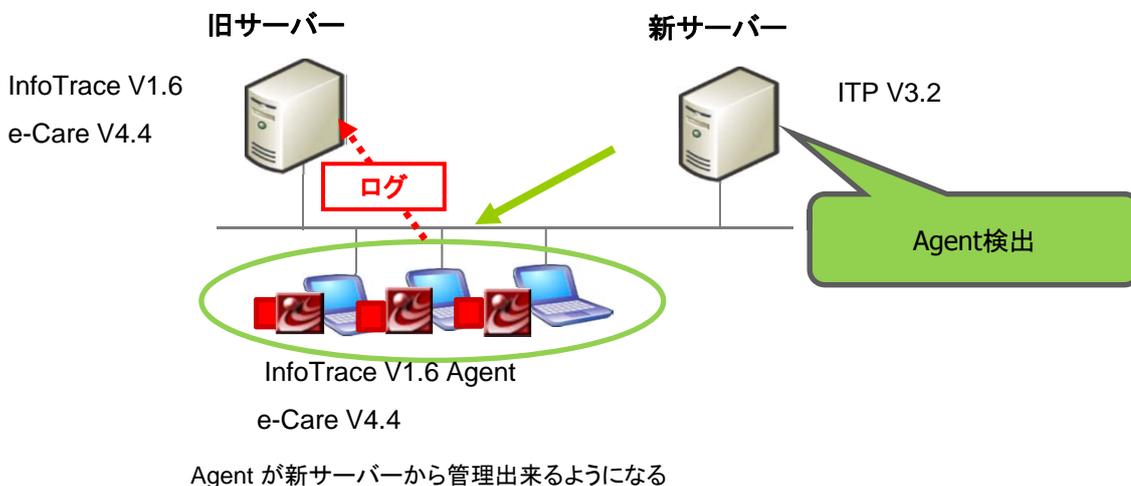
STEP 2 ITP V3.2 サーバーの新規インストール

- ① 新サーバーに ITP V3.2 サーバーを新規インストールして下さい。
 ※システムパスワードを新旧で同一にする必要があります
 ※最新のアップデートパックがリリースされている場合は、アップデートして下さい。
- ② サーバーバックアップツールにてバックアップしたデータを ITP V3.2 サーバーにリストアして下さい。
 ※STEP 2-①でアップデートパックを適用した場合は、再度、アップデートして下さい。
- ③ ITP V3.2 サーバーにて、Agent Disk の設定内容を確認し、Agent Disk を再発行して下さい。(InfoTrace 設定が必要)



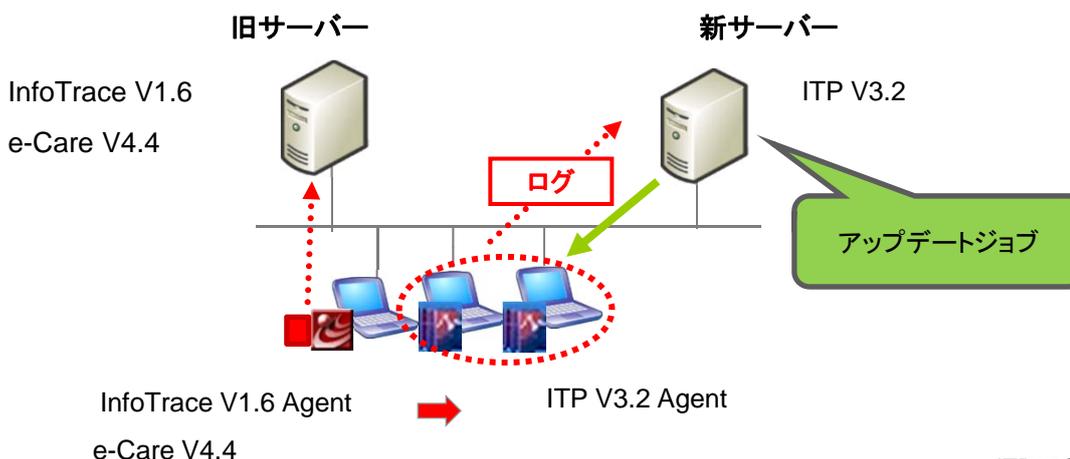
STEP 3 新サーバーでの Agent 検出

- ① 旧サーバーの e-Care サービスを停止して下さい。(InfoTrace サービスは停止しないで下さい。)
- ② ITP V3.2 サーバーをネットワークに接続します。
- ③ ITP V3.2 サーバーの Manager の Agent 自動検出ジョブにて Windows Agent を検出して下さい。
 ※Manager が Agent と通信出来るようになり、新サーバーで管理出来るようになります
 ※Agent はまだ e-Care V4.4、InfoTrace V1.6 のままです。
 ※InfoTrace V1.6 Agent は旧サーバーにログ送信しています
 ※PC が持ち出されている場合やシャットダウンされている場合は、検出出来ません。
 ※規模や環境にもよりますが、全ての Agent が検出されるまで一定期間実行して頂く必要があります。
 ※万が一、NAT 環境や FW がある環境で Agent 検出が出来ない場合、別途ご相談下さい。



STEP 4 Agent のバージョンアップ

- ① ITP V3.2 サーバーから Agent アップデートジョブにて、ITP V3.2 Agent にバージョンアップするか、手動にて Agent PC で書きインストールして下さい。
 ※段階的に InfoTrace V1.6、e-Care V4.4 Agent から ITP V3.2 Agent へ切り替わります。
- ② オフライン端末がある場合、Log Import Tools (弊社HPよりダウンロード)にてログを回収、サーバーへ送信し、Agent をアンインストールして下さい。



STEP 5 ログのバックアップ

- ① InfoTrace V1.6 Agent がアンインストールされたら、ネットワークから切り離し、ログをバックアップして下さい。
- ② 旧バージョンのログを ITP V3.2 で検索したい場合等、必要に応じてバックアップしたログをコンバーターにてコンバートをし、バックアップリストツールにてリストアして下さい。

STEP 6 InfoTrace V1.6、e-Care V4.4 サーバーのアンインストール

- ① 移行作業が終わりましたら、InfoTrace V1.6 サーバー、e-Care V4.4 サーバーをアンインストールして下さい。

本ご案内に関するお問い合わせ プロダクトマーケティング本部 e-mail: SolitonProducts@soliton.co.jp

ご購入後の製品に関するお問い合わせ コンタクトセンター
<http://www.soliton.co.jp/contact/index.html>

その他製品に関するお問い合わせ 弊社担当営業 e-mail(代): netsales@soliton.co.jp